

3

きょう だいです  
今日はマリーの大好きな、クリスマス・イブです。

「さあマリー、プレゼントだよ。あ  
開けてごらん」

ちちおや かお あたま  
マリーが父親からもらったのは、りりしい顔をした、頭の  
おお へいたい かっこう にんぎょう  
大きな、兵隊の格好をした人形でした。

「これはね、『くるみ わ にんぎょう  
割り人形』っていうんだよ。どれ、ち  
よつと か  
貸してごらん」

ちちおや わ にんぎょう て と にんぎょう くち なか  
父親はくるみ割り人形を手に取り、人形の口の中に、く  
るみ ひと い  
みを一つ入れました。

「ほら、マリー。この人形 にんぎょう せなか  
の背中についているレバーをひい  
てみなさい」



5

マリーが言われた通りにレバーを引くと、パキッと音がしました。

「本当だ！固いくるみのからが、かんたんに割れちゃった」

マリーはこの人形をととても気に入り、しばらくソファに座って、人形でくるみを割って遊んでいました。

その日の夜。マリーはくるみ割り人形を枕元の棚に置いて、眠りにつきました。

ふと、なにか物音を聞いて、マリーは目を覚ましました。

「ん・・・だれかいるの？」



It was Mary's favorite day of the year: Christmas Eve.

"Here you go Mary, this is your present. You may open it."

The present she received from her dad had a large head with a handsome face and was dressed in a costume of a soldier.

"This is called the 'Nutcracker'. Pass it over to me."

Her father took the Nutcracker and put a walnut inside his mouth.

"C'mon Mary, now try pulling the lever on his back."



3 1

Mary pulled the lever, then it made a cracking noise.

“Oh wow! The hard shell of a walnut cracked so easily!”

She really liked this Nutcracker and she sat on a couch cracking walnuts with it for a while.

That night, Mary placed the Nutcracker on the shelf by the bed and went to sleep.

During the night, she woke up to a noise,

“Hm? Is anyone there?”

